

キャラクター名
相沢 新

プレイヤー名

シンドローム	バロール ノイマン		ワークス	UGNエージェントD	カヴァー	物理学者
オプション			年齢	26	性別	男
覚醒	生誕	衝動	殺戮		初期侵食率	35 %
出自	待ち望まれた子	経験	裏切られた	邂逅	友人：敷島あやめ (P298)	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	0	0	1			1	行動値	10
感覚	1	0	1			2	(非装備時)	10
精神	5	0	1			6	戦闘移動	15
社会	2	1	0			3	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉	1	
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ナイフ (射的)	射撃	2r-1		2		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
レザージャケット	4	2			

所持品	
モバイルPC	

合計装甲： 2 合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
家族	P 憧憬	N 隔意		
仇	P 有為	N 脅威		
ララ・エーデルシュタイン	P 慈愛	N 憐憫		
玉野椿 (仮)	P 幸福感	N 疎外感		
黒矢三乗	P 感服	N 不安		
雷野夜汜	P 好奇心	N 恥辱		
秋月待仁	P 慈愛	N 無関心		

最大財産P: 8 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
カバーディフェンス	3	2	オート	至近	自身	自動		
効果： 行動済みにならずカバーリングを行う。行動済みでもカバーできる。1メインプロセスに1回、シナリオSL回								
リカバリー	1	2	マイナー	視界	単体	自動		
効果： 暴走以外のバステ回復								
孤独の魔眼	2	4	オート	視界	-	自動		
効果： 「対象：範囲」と「対象：範囲（選択）」の対象を自分一人に変更。1シナリオにSL回								
斥力障壁	2	2	オート	視界	単体	自動		
効果： ダメージを-[1d+LV*2]。1ラウンドに1回								
ファンアウト	1	4	セットアップ	至近	範囲 (選択)	自動		
効果： 対象を即座に戦闘移動させる。自分は対象にならない。								
戦術	2	6	セットアップ	視界	シーン (選択)			
効果： メジャーアクションのダイスを+LV。自分は対象にならない。								
グラビティガード	1	3	オート	至近	自身	自動		
効果： ガード値を+SLD								
アドヴァイス	1	4	メジャー	視界	単体	交渉		
効果： 次に対象が行うメジャーアクションの達成値を-1（下限値6）し、その判定のダイスを+Lv個								
偏差把握	★		メジャー	視界	シーン (選択)			
効果： 自身の周りがあるすべてのものがどこにあってどう動くか分かる								
プロファイリング	★		メジャー					
効果： 物品や品物から対象の人物像を描き出す								
効果：								
効果：								
効果：								

12/25 A型

本部所属。
好奇心旺盛で気まぐれなお調子者。
彼の興味は常に研究にあり、気を引くものがあればそれを追い求めてふらりと数日いなくなったりかと思えばずっと自室に引きこもっている、なんていうこともザラ。
尊敬する人間はアイザック・ニュートン。
空を自由に飛びたかったけれどそれが存外簡単に叶ってしまったため次の目標は宇宙旅行。
.

待ち望まれた子、のはずだった。
子室に恵まれなかった両親が、ようやく授かった第一子。
けれど彼は、ごく平凡な家庭で産まれるには、あまりに非凡だった。
腫れ物を扱うような、時に化物でも相手にするかのような両親の態度に、親元を離れUGNの施設で暮らすことを決意した。

施設では兄のように先輩のように面倒を見てくれる友人ができ、
チルドレンの中でも優秀だった彼に新もなついてよく一緒に過ごしてきた。
そんなある日、新の研究が彼の名前で発表された。新にとっては、ほんの小さな研究だった。
問い詰めた新に、彼は冷めた目で、あろうことか刃を向けたのだ。黙っている、と。
——彼がジャーム化したのは、それからほんの数日後だった。